

巡回展「キモかわすごい！海の骨なしどうぶつの世界」実施報告書

記入日: 令和6年12月27日

館名・団体名	のと里山里海ミュージアム
部署・担当者氏名	床坊

のと里山里海ミュージアムでの開催に関して

国立科学博物館、能登里海教育研究所、七尾市教育委員会(のと里山里海ミュージアム)、国立科学博物館の3機関が連携し、令和6年1月に起こった能登半島地震、同年9月に起こった能登半島豪雨で被災された方々、特に子どもたちの復興支援の一つとして、巡回展示・関連イベントを企画実施したものである。

1. 開催概要

開催期間

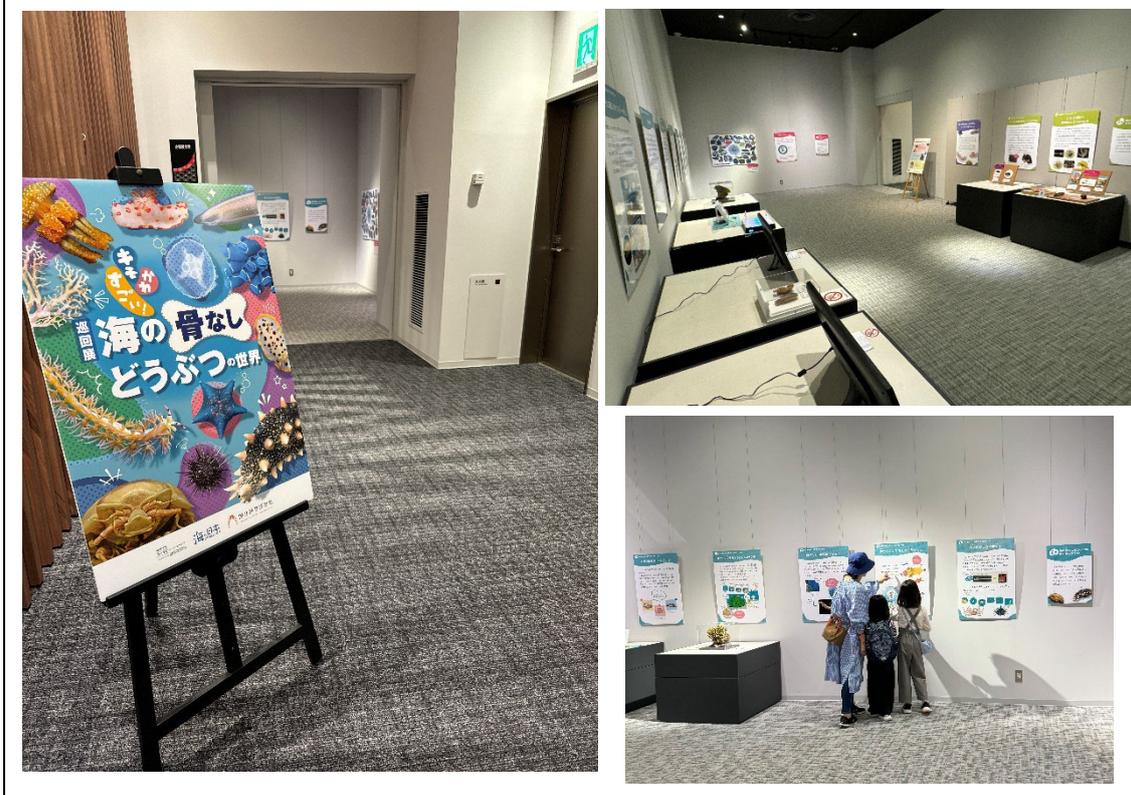
令和6年10月12日(土)～令和6年11月10日(日)

開催日数: 26日(休館日を除いた日数をご記入ください)

展示会場広さ(展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約70㎡

開催の様子(写真)





展示ツアーの様子



追加標本を展示 (10/12 のみ)



七尾高等学校の生徒による
ポスター発表 (全9班)



ワークシートに自由に
取り組めるエリア



ワークショップに関連し
クラゲの図鑑等を並べ
自由に閲覧できるエリア

※頁数が増えてもかまいません

※関連イベントを実施した場合は、実施の様子の写真も入れてください。



国立科学博物館 巡回展

ネモト
か
わ
おごい!

観覧無料

海の骨なし
どうぶつの世界

2024年
10月12日(土)~11月10日(日)

のと里山里海ミュージアム 会場：企画展示室

〒926-0821 石川県七尾市湊分町1番地 能登歴史公園(国分寺地区)内 電話番号：0767-57-5100

開館時間：9時～17時 ※入館は開館時刻の30分前まで
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は開館)
入館料：無料
共催：国立科学博物館、能登里海教育研究所、七尾市教育委員会
特別協力：船の科学館 海の学びミュージアムサポート



海の骨なし どうぶつの世界

海の中にはさまざまな骨なしどうぶつが
くらす、ふしぎな世界が広がっています。
ここでは、わたしたちの想像をこえる、海の
骨なしどうぶつのすごい！かわいい！ひみつ
をパネルや標本で紹介します。

展示ストーリー

- 1章 海にはふしぎなどうぶつがいっぱい！**
「骨なしどうぶつ」ってなんだろう？「骨なしどうぶつ」の正体にせまります。
- 2章 海の骨なしどうぶつのキモかわすごい！**
海の骨なしどうぶつをよくみると「かわいい！」「すごい！」がたくさんあります。
わたしたちヒトとはちがう、おどろきの世界をのぞいてみましょう！
- 3章 海の骨なしどうぶつとわたしたち**
じつはわたしたちの身の回りにも海の骨なしどうぶつがたくさんいます。
わたしたちとどのような関わりがあるのでしょうか。
- 4章 キモかわすごい！
海の骨なしどうぶつから学べること**
海の骨なしどうぶつはわたしたちにとって当たり前でない
生き方を教えてくれます。

イベント情報

すべて
予約不要
参加無料！

お子さま向け
ワークショップ

2024年10月12日(土)

オープニングイベントを開催！みなさまのご参加をお待ちしています♪

1 研究者のトーク&展示ツアー

国立科学博物館の研究者による展示解説と
スペシャルトークを行います。

トーク&ツアー
11:00～11:30
16:00～16:30

スペシャルトーク
13:00～13:50



フグ類の専門家
並河 洋

魚類の専門家
中江 雅典

2 スーパーサイエンスハイスクール 七尾高等学校 研究発表会と研究者との ディスカッション

14:00～15:30

七尾高等学校の生徒による研究発表および生徒と国立科学博物館の
海のどうぶつの研究者とのディスカッションを行います。

3 テーブルサイエンス・ワークショップ

お子さま(未就学児～小学生)向けのワークショップを行います。

10:00～12:00
13:00～16:30
所要時間約15分

11月10日(日)にも
クローズングイベントを開催予定です！
詳細は「のと里山里海ミュージアム」
ホームページからご確認ください

お問合せ

のと里山里海ミュージアム
Noto Satoyama Satoumi Museum

〒926-0821 石川県七尾市国分町イ部1番地
能登歴史公園(国分寺地区)内
電話番号: 0767-57-5100
ホームページ: <https://noto-museum.jp/>

アクセス

- 車をご利用の場合
金沢・輪島方面から「のと里山海道」徳田大津 JCTから七尾方面へ約25分
富山・水貝方面から「能登自動車道」七尾 IC すぐ横
- 各種交通機関をご利用の場合
JR・バス
JR七尾駅から市内循環バス「まりん号」七尾城ルート(順回り)で
能登区分寺公園口下車
JR七尾駅から北越能登バス「羽七東線」羽崎駅前行で南ヶ丘住宅前下車
各バス停からミュージアムまで徒歩約8分
タクシー
JR七尾駅からミュージアムまで約4km(約7分)
飛行機
のと里山空港からミュージアムまで車で約1時間



海の骨なし どうぶつの世界

海の中にはさまざまな骨なしどうぶつが
くらす、ふしぎな世界が広がっています。
ここでは、わたしたちの想像をこえる、海の
骨なしどうぶつのすごい！かわいい！ひみつ
をパネルや標本で紹介します。

すべて
予約不要
参加無料！

イベント情報

2024年11月10日(日)

クローズングイベントを開催！みなさまのご参加をお待ちしています♪

1 研究者のトーク&展示ツアー

11:00～11:30
15:30～16:00

国立科学博物館の研究者による展示解説を行います。



クラゲ類の専門家 並河 洋
魚類の専門家 中江 雅典

2 生物の多様性と能登の復興～大学生から見た里海の魅力～

国立科学博物館の研究者と、能登好き・海好き・生き物好きの大学生のお話を聞きながら、一緒に能登の未来を考えましょう。

スペシャルトーク 「博物館はなぜ標本を集めるの？」
並河 洋 Hiroshi Namikawa
国立科学博物館 動物研究部 研究主幹

生物多様性を理解するために
標本が必要なのです。

スペシャルトーク 13:00～13:30
ゲストトーク 13:45～15:15

スペシャルトーク

「能登のあらゆる動物を研究し尽くす」
角田 啓斗 Keito Tsunoda
金沢大学臨海実験施設・広島大学大学院1年
研究者と一緒に探検する、地域の自然の魅力と
保護活動を紹介します！



「能登 LOVE 大学生」
杉林 拓望 Takumi Sugibayashi
東京海洋大学 2年
能登を水産業から良くするために色々勉強中です。
能登のことを色んな人知って欲しい！

「海無し県から海に来た！」
中沢 桃 Momiji Nakasawa
金沢大学理工学域1年
ウミケムシって生き物、語らせてください！



「新潟県の海洋高校出身
海洋教育の研究に夢中な大学生」
若松 綾 Aya Wakamatsu
東京海洋大学 2年
海洋高校での学習について
ご紹介させていただきます！



「通りすがりの生き物好き大学生」
亀 允斗 Masato Kame
金沢大学理工学域1年
能登と生き物について、地元目線から語ります！



コーディネーター

浦田 慎 Makoto Urata
能登里海教育研究所 主幹研究員



お子さま向け ワークショップ

3 テーブルサイエンス・ワークショップ

お子さま(未就学児～小学生)向けのワークショップを行います。

10:00～12:00
13:00～16:30
所要時間約15分

お問い合わせ

のと里山里海ミュージアム
Noto Satoyama Satoumi Museum

T926-0821 石川県七尾市国分町イ部1番地
能登歴史公園(国分寺地区)内
電話番号: 0767-57-5100
ホームページ: <https://noto-museum.jp/>

アクセス

- 車をご利用の場合
金沢・鶴岡方面から「のと里山海道」(粟田大津JCT)から七尾方面へ約25分
富山・氷見方面から「能登自動車道」七尾ICすぐ横
- 各種交通機関をご利用の場合
JR・バス
JR七尾駅から市内循環バス「まりん号」七尾城ルート(扇回り)で
能登国分寺公園口下車
JR七尾駅から北越能登バス「羽七東線」羽咋駅前行で南ヶ丘住宅前下車
色バス停からミュージアムまで徒歩約8分
タクシー
JR七尾駅からミュージアムまで約4km(約7分)
飛行機
のと里山空港からミュージアムまで車で約1時間



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

令和6年10月4日	展示物搬入
令和6年10月11日～令和6年10月11日	設営（4人）
令和6年10月12日～令和6年11月10日	開催
令和6年11月11日～令和6年11月11日	撤去（2人）
令和6年11月11日	展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

今回の巡回展は、通常開催とは異なり、震災後の被災地支援を目的に実施されました。小学生でも鑑賞できる展示内容となっており、低年齢層を対象にしたワークショップや高校生や大学生を巻き込んだイベントなども実施し、巡回展を通じて未来を担う若い世代にアプローチができたことは良かったと思います。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

来場者アンケート結果から、七尾市内やその周辺地域のほか県内各地から来館があったことがわかります。それだけ、国立科学博物館のネームバリュー、展示テーマへの関心が高かったことを示していると思います。

アンケートの回答で数名の方から展示数がやや少ないとのご意見がありました。あと2、3点ほど展示資料がプラスされれば、より鑑賞の満足度が高まったのではないかと思います。

3. 広報について

広報方法（チラシ等のデータがあれば、別途添付してください）

- ・ 国立科学博物館で配布しているテンプレートから作成。
- ・ 巡回展示の内容だけでなく、イベント情報についても掲載するためデザイン業者へ発注して制作した。
- ・ のと里山里海ミュージアムのHP内、公式SNSでの広報を行った。
- ・ チラシ及びポスターは、石川県七尾市と近接する市町村（中能登町・志賀町・内灘町・津幡町・かほく市・宝達志水町・羽咋市・金沢市）と、被害が大きかった奥能登地域（珠洲市・輪島市・能登町・穴水町）、七尾市から近い富山市科学博物館の学校を含む公共施設208件8,180部に配布した。

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館のwebにて紹介させていただきます。